



## 令和5年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和5年2月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7851 URL <https://www.kc-s.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 啓輔  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 糸川 克秀 (TEL) 03-3541-2281  
兼最高財務責任者  
四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和5年3月期第3四半期の業績（令和4年4月1日～令和4年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	1,888	1.0	0	△98.3	7	△81.2	35	△21.1
4年3月期第3四半期	1,869	△5.3	38	43.4	41	59.1	45	259.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	7.52	—
4年3月期第3四半期	9.53	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第3四半期	3,629	2,571	70.9
4年3月期	3,498	2,546	72.8

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 2,571百万円 4年3月期 2,546百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
5年3月期	—	0.00	—		
5年3月期（予想）				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 令和5年3月期の業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,470	△1.2	△60	△233.3	△50	△204.2	△15	△475.0	△3.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	5年3月期3Q	5,160,000株	4年3月期	5,160,000株
② 期末自己株式数	5年3月期3Q	429,111株	4年3月期	429,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5年3月期3Q	4,730,889株	4年3月期3Q	4,730,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報) .....	5
3. その他 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、ウクライナ情勢の長期化による資源価格の高騰の影響などを受けつつも、人的活動の制限緩和による経済再開により一部に回復傾向がみられたものの、新たな変異株の出現による新規感染が急拡大するなど、予断を許さない状況です。

ビジネスフォーム業界におきましても、コロナ禍での企業活動の停滞や、電子化による印刷需要の減少などにより厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、当期に新設した情報系設備の稼働を目指した計算センターを中心とする既存先との取引深耕や新規開拓活動や中央官庁、地方自治体への入札参加を目指した提案営業活動に取り組みました。加え原材料価格の高騰に対応した価格改定活動にも注力するとともに、厳しい状況が続くことを見据えた設備稼働率の向上やスケジュール管理、歩留まり向上等製造コストの圧縮に努めてまいりました。

その結果、売上高は1,888百万円（前年同期は1,869百万円）、経常利益は7百万円（前年同期は41百万円）、四半期純利益は35百万円（前年同期は45百万円）となりました。

#### ①ビジネスフォーム事業

企業実務のデジタル化の進展による需要の減少、得意先の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による営業自粛等の影響はあるものの売上高は前年同期と比べ、58百万円増加の1,106百万円（前年同期は1,048百万円）となりました。セグメント利益は生産管理体制の見直しなどを実施し、売上高が増加したこともあり51百万円増加の154百万円（前年同期は103百万円）となりました。

#### ②情報処理事業

新規案件獲得等に幅広く活動したものの、売上高は前年同期と比べ39百万円減少し781百万円（前年同期は821百万円）となりました。セグメント利益は大型機械設備を導入し減価償却費等のコスト増加もあり、90百万円減少し69百万円（前年同期は160百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

流動資産は前事業年度末と比べ321百万円減少し、2,008百万円となりました。これは主に「原材料及び貯蔵品」が16百万円、「その他」に含まれる「前払費用」が8百万円、「未収入金」が66百万円、「立替金」が14百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が406百万円、「受取手形及び売掛金」が36百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ452百万円増加し、1,621百万円となりました。これは主に「有形固定資産」が448百万円、「投資その他の資産」に含まれる「保険積立金」が13百万円それぞれ増加し、「無形固定資産」が4百万円減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ97百万円減少し、652百万円となりました。これは主に「1年内返済予定の長期借入金」が16百万円、「その他」に含まれる「リース債務」が31百万円、「預り金」が9百万円それぞれ増加し、「買掛金」が28百万円、「独占禁止法関連損失引当金」が46百万円、「賞与引当金」が15百万円、「その他」に含まれる「未払消費税等」が50百万円、それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ202百万円増加し、405百万円となりました。これは主に「長期借入金」が33百万円、「役員退職慰労引当金」が5百万円、「その他」に含まれる「リース債務」が163百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ25百万円増加し、2,571百万円となりました。これは主に四半期純利益を35百万円計上し、配当金を14百万円支払い、「その他有価証券評価差額金」が4百万円増加したことによるものです。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の業績見通しにつきましては、売上高2,470百万円、営業損失60百万円、経常損失50百万円、当期純損失15百万円を見込んでおります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、本日公表の当社「令和5年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和4年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,794,524	1,388,144
受取手形及び売掛金	371,811	335,565
有価証券	49,447	52,951
商品及び製品	38,483	43,396
仕掛品	12,765	13,629
原材料及び貯蔵品	22,387	38,573
その他	39,885	136,007
貸倒引当金	△38	△36
流動資産合計	2,329,267	2,008,232
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	200,826	231,703
土地	414,820	414,820
その他（純額）	40,329	458,007
有形固定資産合計	655,976	1,104,530
無形固定資産	29,091	24,577
投資その他の資産	483,821	491,916
固定資産合計	1,168,890	1,621,024
資産合計	3,498,157	3,629,256
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	140,359	112,082
短期借入金	340,000	340,000
1年内返済予定の長期借入金	—	16,664
未払法人税等	7,889	6,485
賞与引当金	30,720	15,342
独占禁止法関連損失引当金	46,000	—
その他	184,630	161,757
流動負債合計	749,599	652,332
固定負債		
長期借入金	—	33,336
退職給付引当金	51,195	52,084
役員退職慰労引当金	27,656	32,954
その他	123,594	286,923
固定負債合計	202,446	405,299
負債合計	952,045	1,057,631
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,748,931	1,748,931
利益剰余金	782,766	804,144
自己株式	△105,338	△105,338
株主資本合計	2,526,359	2,547,736
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,752	23,888
評価・換算差額等合計	19,752	23,888
純資産合計	2,546,111	2,571,625
負債純資産合計	3,498,157	3,629,256

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	1,869,749	1,888,414
売上原価	1,309,284	1,371,048
売上総利益	560,465	517,366
販売費及び一般管理費	522,424	516,713
営業利益	38,040	652
営業外収益		
受取利息	1,079	2,975
受取配当金	4,198	3,934
作業くず売却益	355	611
保険解約返戻金	—	2,293
その他	4,521	3,661
営業外収益合計	10,155	13,476
営業外費用		
支払利息	5,746	5,432
その他	740	838
営業外費用合計	6,486	6,271
経常利益	41,709	7,857
特別利益		
固定資産売却益	10,878	—
固定資産受贈益	—	35,060
投資有価証券売却益	—	16,088
役員退職慰労引当金戻入額	18,095	—
特別利益合計	28,973	51,148
特別損失		
固定資産除却損	11	7,367
電話加入権評価損	—	1,736
保険解約損	1,908	—
原状回復費用	—	4,358
独占禁止法関連損失	—	3,488
独占禁止法関連損失引当金繰入額	18,400	—
特別損失合計	20,320	16,950
税引前四半期純利益	50,362	42,055
法人税、住民税及び事業税	5,280	6,485
法人税等合計	5,280	6,485
四半期純利益	45,081	35,570

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、当該会計基準等の適用が四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間（自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,048,614	821,135	1,869,749	—	1,869,749
外部顧客への売上高	1,048,614	821,135	1,869,749	—	1,869,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,048,614	821,135	1,869,749	—	1,869,749
セグメント利益	103,219	160,077	263,296	△225,256	38,040

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間（自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,106,936	781,478	1,888,414	—	1,888,414
外部顧客への売上高	1,106,936	781,478	1,888,414	—	1,888,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,106,936	781,478	1,888,414	—	1,888,414
セグメント利益	154,756	69,204	223,960	△223,307	652

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

3. その他

該当事項はありません。